ICU入室中患者の死亡月に関する検討

編集委員長殿

本誌第18巻第3号に掲載された田口¹⁾の調査報告「ICU入室中の患者の死亡月と時刻に関する時間的法則性についての実態調査」に興味深く拝読致しました。著者は主としてサーカディアンリズムに代表される死亡の日内変動に大きな興味を持っている印象を受けましたが、我々は死亡月に関して、夏季と冬季にピークが存在した結果に注目しております。

これまでも一般的な傾向として冬季に死亡率が上昇することは知られてきましたが^{2),3)}, Harrisonら⁴⁾は英国におけるICU内の治療患者に関しても冬季の死亡率上昇を報告しており、ICU入室時の重症度で補正しても、季節性の変動が統計学的に認められます。Reinikainenら⁵⁾はフィンランドのICUにおける死亡率の季節性変化を調査し、やはり冬季における死亡率の上昇を確認していますが、同時に、7月に突出した死亡率のピークが存在したことを報告しています。この結果は、田口¹⁾の死亡月に関する検討とほぼ一致します。

Reinikainenら⁵⁾は7月の死亡率突出について、夏季休暇期間との関係を考察しています。休暇取得者の増加に伴い、救急外来や病棟の熟練した医療スタッフが減少するため、ICUへ入室して加療を開始するまでに平時より長い時間を要する可能性を仮説として取り上げています⁵⁾。本邦の医療機関においても、夏季休暇取得のほか、冬季には年末年始の長期間休診が一般的に定着しており、影響は少なくないと考えられます。田口¹⁾の結果からは、熟練者が最も多いと考えられる年度末の3月に死亡者が最少となり、新年度の4月に上昇する傾向がみてとれます。

ICUはその特性から人的資源を多く必要とし^{1),6)}, その管理体制や運営方針に関しては日本集中治療医学会による調査が行われていますが⁷⁾, 今後、さらに多くの研究、検討が必要と思われます。

本稿の全ての著者には規定されたCOIはない。

足立 裕史^{*1}, 松田 直之^{*1,2}

^{*1}名古屋大学医学部附属病院救急部

^{*2}名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野

(〒466-8550 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65)

文 献

- 1) 田口豊恵. ICU入室中の患者の死亡月と時刻に関する時間的法則性についての実態調査. 日集中医誌 2011;18:429-32.
- 2) Sheth T, Nair C, Muller J, et al. Increased winter mortality from acute myocardial infarction and stroke: the effect of age. J Am Coll Cardiol 1999;33:1916-9.
- 3) Keatinge WR. Winter mortality and its causes. Int J Circumpolar Health 2002;61:292-9.
- 4) Harrison DA, Lertsithichai P, Brady AR, et al. Winter excess mortality in intensive care in the UK: an analysis of outcome adjusted for patient case mix and unit workload. Intensive Care Med 2004;30:1900-7.
- 5) Reinikainen M, Uusaro A, Ruokonen E, et al. Excess mortality in winter in Finnish intensive care. Acta Anaesthesiol Scand 2006;50:706-11.
- 6) Myotoku M, Iwamoto C, Tomida Y, et al. Introduction and evaluation of a newly established holiday work system in the ward pharmacy at Municipal Ikeda Hospital. Yakugaku Zasshi 2006;126:1003-10.
- 7) 日本集中治療医学会ICU機能評価委員会, 平成20年度厚生労働科学研究班. ICUの人員配置と運営方針が予後に与える影響について. 日集中医誌 2011;18:283-94.

受付日2012年7月17日

採択日2012年7月20日

The insight for mortality regarding the month in ICU patients

To the Editor: Yushi Adachi^{*1}, Naoyuki Matsuda^{*1,2}

^{*1}Department of Emergency Medicine, Nagoya University Hospital

^{*2}Department of Emergency and Critical Care Medicine, Nagoya University Graduate School of Medicine
(65 Tsurumai-cho, Showa-ku, Nagoya, Aichi 466-8550, Japan)

J Jpn Soc Intensive Care Med 2013;20:295.